

建設業担い手育成

担い手確保・育成の取り組みとして、 インターンシップの受入れを行いました。

“地域インフラ” 2017
サポートプラン関東

<インターンシップ受入れ概要>

実習期間：平成29年8月31日～平成29年9月8日

対象生徒：日本大学理工学部土木工学科3年生(女性1名)

実習場所：茨城県土浦市沖宿町地先

実習内容：現場体験(現場従事、各種打合せ、捨石採取場見学、施工管理)

重機・機械操作体験

(バックホウや泥上掘削機等の操作体験、ドローンによる空撮等)

施工管理ソフト体験(CADによる図面描画等、出来形・写真)

重機操作体験 (BH船、泥上掘削機他)



◎現場体験を終えて

- ・測量は、水辺でも容易に短時間で出来て大変便利だなと思いました。
- ・ドローンはイメージしていたより簡単で、写真や映像が綺麗でした。
- ・色々な重機に乗せて頂き、且つ操作体験も出来た事はとても良かったです。早く資格(車両系建設機械の運転)を取りたいです。

◇担当者からの感想

色々な体験をして頂いた中で、測量機器やドローン、PCソフト等、たった数回教えただけで巧みに操作してしまう事に驚きました!! その中でも、特に重機操作に関心が高く、目を輝かせていたのが印象的でした。近い将来、是非建設業に携わって頂きたいですね!

監理技術者 宮内 清

測量機器操作



ドローン空撮体験



施工管理ソフト操作体験



地元小学生を対象とした現場見学会

○建設業への関心・興味を持ってもらう事と、霞ヶ浦の未来の水環境学習を目的に、地元小学生を対象に現場見学会を開催しました。

開催日：平成29年11月24日（金）
参加者：土浦市立上大津東小学校
4年生44名、教員3名
見学場所：茨城県土浦市沖宿町地先
(霞ヶ浦西浦中岸8.75km 自然再生地H区間)

現場をスケッチ中、感想も様々です！



自然再生現場を背景にドローンで記念撮影!!



仮設備や看板にも興味津々



◇担当者より一言

児童たちは、工事現場を見るのは初めてとの事で、作業船や重機等に興味津々、スケッチや感想文に夢中でした。見学中は、沢山の児童から色々な質問があり、工事に対して興味を持って貰えたんだと実感しています。これらの体験を通じて、子供たちが将来、建設業を希望してくれたら嬉しいですな！

ドローンはこの日一番の盛り上がり!!



高校生を対象としたICT技術の現場見学会

“地域インフラ”2017
サポートプラン関東

建設業の未来の担い手となる学生に、工事に関する測量や施工の最新のICT技術を実際に体験していただくことで、未来の建設業への理解や興味・関心を深めていただくことを目的として、現場見学会を開催しました。



開催日時：平成30年2月27日（火）
参加者：茨城県立土浦工業高等学校
土木科2年生 28名 引率先生 2名
見学場所：茨城県土浦市大岩田地先
工事名：H28西浦右岸大岩田地区
波浪対策護岸工事
施工者：水郷建設 株式会社

☆見学会の概要

- ①工事概要説明(ICT技術の取組み)
- ②最新ソフトによる3D設計データの作り方
- ③測量体験「宝探しゲーム」(GNSSレーザースキャナー)
- ④土砂締固め色塗り体験(GNSS)
- ⑤ICT施工対応油圧ショベル試乗体験
(指導員同乗)

～生徒からの感想～

☆建設現場のことは学校でも
学んではいるが、それより
も技術が進んでいることが
わかった。

☆現場の団結力がすごかった。
これだけ大がかりな仕事ができるのは、現場の優れたチームワークがあるからだと思った。

☆宝探しゲームの時は、GNSSレーザー
スキャナーを使用して、ゲーム感覚で
操作でき、わかりやすかった。

☆学校では乗ることができないマシンコントロール油圧ショベルにも乗ることができ、操作の仕方や効率の良さを教えてもらえて、とても勉強になった。

☆ICT施工を体験してしまうと、自分たちが普段学校でやっている手動の実習がとても大変に思えた。でも、今ここで働いている先輩方は、この大変さを経験しての今があると思うので、僕たちも今やれることを、しっかり学びたいと思います。



☆仕事への具体的なイメージが湧いた。



高校生にICT説明

水郷建設 現場見学会を開催



見て、体験し、建設業界に興味を持ってほしい」とあいさつ。

ていた。

今回の現場見学会の開催について、茂木陽子代表取締役は「ICT技術



CT建機に試乗してもらった

の購入などで、相場を販
り善く相場も変わってき
た。業界に興味を持ち、
将来携わる人がいてくれ
る」と話す。

見学現場は、国土交通
省農水・浦賀川事務所土庫
出張所発足の日28西浦右

日本工業經濟新聞
(平成30年3月2日掲載)

～現場代理人コメント～

専門的な教育を受けてきた生徒たちが現場に興味を持ってくれればと思い開催しました。建設業で働いてみたいと思う学生が少しでも増えればうれしいです。